

| | 1 子育て分野の政策課題 | 2 課題解決に向けた施策の方向性 |
|---|---|---|
| 区 の 補 助 計 画 等 の ま と め | <p>(1) 世代を超えて社会全体が子どもと子育てを支援する意識の啓発が求められている。</p> <p>(2) 保健、医療、福祉、教育などにわたって、妊娠期から青年期までを切れ目なく包括的に支援する仕組みについて検討を進めていく必要がある。</p> <p>(3) 様々な背景を持つ子どもや保護者のニーズに対応した子育て支援サービスの充実が求められている。子ども食堂などの自主的な地域活動団体の支援や民間の子育てふれあいひろばの整備など、子どもの育ちを支え、見守るネットワークを強化する必要がある。</p> <p>(4) 子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点(子ども家庭支援センター)、児童相談所を中核とした、子どもの最善の利益を確保するための総合的な子ども家庭支援体制の構築が求められている。</p> <p>(5) 今後の保育需要を見据えた保育所や学童保育クラブなどの施設整備と、医療的ケア児など多様なニーズに対応する良質な保育サービスの提供が求められている。</p> | <p>【5年後】</p> <p>(1) 子どもや青少年の様々な交流や体験の機会を充実させ、家庭、学校、地域、関係団体、行政の連携・協力を推進する。</p> <p>(2) 様々な相談、サービスを再構築し、妊娠期から青年期までを包括的に支援する枠組みをつくる。</p> <p>(3) 地域活動団体の支援や民間の子育てふれあいひろばの整備を進め、子どもの育ちを支え、見守る地域のネットワークの構築に取り組むとともに、様々な背景を持つ子どもや保護者のニーズに対応した子育て支援サービスの身近な場所での提供を推進する。</p> <p>(4) 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点、児童相談所の更なる連携を進め、リスクの高い子どもや家庭的確な把握とアセスメント、効果的な支援が行える体制の構築に取り組む。</p> <p>(5) 保育所の待機児童ゼロを継続するとともに、保育定員の拡大に対応した保育の質の確保に取り組む。また、放課後子ども総合プランを実施可能な小学校から順次実施し、多様な体験・活動を行う新たな放課後の居場所を提供する。</p> <p>【10年後】</p> <p>(1) 家庭、学校、地域、関係団体、行政の連携・協力により、子どもや青少年の様々な交流や体験の機会を充実させ、主体性が尊重され、権利が守られた環境を整備する。</p> <p>(2) 保健、医療、福祉、教育などの分野での総合的な子育て支援を行い、地域での子育て支援活動や多様な保育サービスが充実し、安心して子どもを産み育てられる環境を整備する。</p> <p>(3) 様々な背景を持つ子どもや保護者のニーズに寄り添った子育て支援サービスの充実を図る。</p> <p>(4) 子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点、児童相談所を区が一元的に運用し、様々な関係機関、地域の人々とともに虐待を未然に防止するためのネットワークを構築する。</p> <p>(5) 子どもの健全な育ちを保障する良質な保育サービスを提供する。また、放課後子ども総合プランを着実に推進し、安全・安心な放課後の居場所を拡大するとともに、社会ニーズに合った児童館・学童保育クラブ事業の再構築を進める。</p> |



| | 3 審議会での主な意見 |
|----------------------------|--|
| 審 議 会 ま と め | <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な保育施設や保育サービスがある中で、数や量を増やすだけではなく、質の確保・向上もしっかり位置付けていくべきである。 ○ 隠れ待機児童問題について、一時的に主婦になった人が働きやすい環境を整えるには、保育施策とともに働き方支援を進めていく必要がある。 ○ 児童虐待防止の体制整備は、一刻も早く取り組むべき課題であり、区としてスピード感を持って進めてほしい。 ○ 児童相談所と支援拠点が一元化すれば事故等は防げるという考え方があるが、一元化しても行政の縦割りの壁に阻まれ、そのはざまに落ちることがあるので、「一元的に運用する」ことから、更に一歩進んだ表現を検討してほしい。 ○ 子どもふれあい広場のような子育てに悩む保護者へのフォローが、虐待などの未然の防止につながるのではないか。 ○ 地域の子ども食堂のニーズは高いが、絶対数がまだ少ないので、区として支援に力をいれてほしい。 ○ 貧困には経済的貧困だけでなく、精神的貧困なども考えられ、例えば子ども食堂では、食事をするだけではなく、その場に来ることを通して精神的に支えられることもあるため、様々な視点から貧困を捉えるべきである。 ○ 区が主体となってネットワークを構築するなど、地域団体がいない場合には、区が環境をつくっていくという姿勢も必要ではないか。 ○ 児童館の充実と住区住民会議の連携について、児童館が主催する地域との連絡会が有効な働きをしており、一層の充実を図るべきである。 ○ 子育て分野か教育分野のどちらかに「暴力がない」「いじめがない」といった内容を入れてほしい。 |

4 子育て分野の概ね20年後の区の将来像やあるべき姿【キーワード】

- 妊娠期から青年期までの包括的で切れ目のない支援体制の構築
- 多様なニーズに対応した質の高い保育サービスの提供(保育施設の整備、一時保育の充実、保育の質の向上)
- 地域の人々と連携した安全・安心な放課後の居場所づくり
- 子育て支援活動を行う地域団体への支援
- 児童虐待防止の一元的な体制整備の推進
- 様々な関係機関と連携した虐待の未然防止に向けたネットワーク体制の充実